

平成27年度技術研究開発賞選考発表会および 第68回全社技術研究発表会 開催



社長 冒頭あいさつ

平成27年11月18日、中電ホールにて「平成27年度技術研究開発賞選考発表会（以下、開発賞）」および「第68回全社技術研究発表会（以下、発表会）」が開催されました。

開発賞は、当社や地域社会または科学技術の進歩に貢献した研究に対し表彰をもって賞揚し、士気の高揚と成果の周知活用を目的としています。また、発表会は技術の向上、事業所・部門間の技術交流、ならびに、研究意欲の向上を目的に開催しております。

開催にあたり、勝野社長は「当社は現在、電力システム改革の進展に伴い、これまでの「9電力体制」を根本から変える第二の創業期といえる転換期の真っただ中にある。この大きな変化を「チャンス」と受け止め、「一歩先行く総合エネルギーサービスを実現する新しい中部電力グループ」を創っていかねばならない。その中で、たゆまぬ技術研究開発は、安定供給をはじめ、新たな価値を提供するサービスや中部電力グループの競争力の源泉そのもの。他社に先駆けて新しい技術の開発や活用を行うこと、その技術でお客さまの期待を超えるサービスを提供していくことを、しっかり意識して技術研究開発に取り組んでほしい。」と技術開発に期待するところをお話されました。



本部長 講評

開発賞では、6件の発表件名の中から「社長賞」1件、「本部長賞」1件、「奨励賞」1件が選ばれ、発表会では、エントリーされた19件名から9件に「優秀賞」が授与されました。

最後に、鈴木技術開発本部長からは「電力システム改革に伴う大きな変革期である今、様々な課題を解決し難局を乗り切っていくためにも、技術研究開発は、ますますその重要度を増している。研究は、一朝一夕には成果が出ない。研究途中で、結果が出るのか、また、成果が得られるのかといった不安や悩みを持ちながらも、一歩進めば一歩ゴールに近づき、最後には、必ずやゴールに到達できる」といった信念を持って、これからも粘り強く取り組んでいただきたい。」との講評がありました。



技術研究開発 社長賞



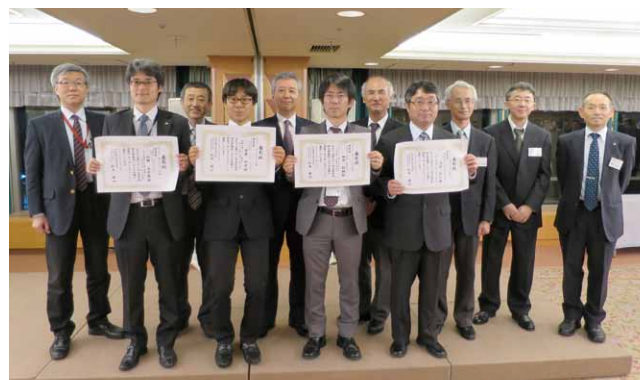
技術研究開発 本部長賞



技術研究開発 奨励賞



全社技術研究発表会ステージ発表の部 優秀賞



全社技術研究発表会ポスターセッションの部 優秀賞

平成27年度「技術研究開発賞選考発表会」

受賞内容	件名	所属	氏名
社長賞	病院向け気化式加湿方式の開発研究	エネルギー応用研究所 お客さま技術 G	中山 浩
		法人営業部 ソリューション G	野杉 直之
本部長賞	碧南火力発電所脱硝触媒劣化メカニズムの解明と化学洗浄による性能回復技術の適用	電力技術研究所 発電 G	服部 雅典
		碧南火力発電所 技術部 環境設備課	平岡 倫行
奨励賞	再生可能エネルギー大量導入時の系統解析を実現する系統解析シミュレータの開発	系統運用部 系統技術 G	壬生 賢一 高木 輝夫

第68回「全社技術研究発表会」

【ステージ発表の部 優秀賞】

件名	代表者所属	代表者氏名
低応力高サイクル疲労破面の応力推定手法の開発	電力技術研究所 材料技術 G	藤田 明吾
差動低圧パルスレーダーの開発について	名古屋支店 中村電力センター 地中線一課	久世 泰之
	名古屋支店 中村電力センター 地中線二課	山崎 一寛 石川 利明
新規制基準対応のケーブルトレイ泡消火装置の開発	原子力部 運営 G	平松 寿隆 奈良間 雄 内藤 俊彦
久々野水力発電所 舟形ストレーナゴミ詰まり対策について	岐阜支店 飛騨電力センター 発電電課	谷本 賢也 河尻 正巳
高周波誘電加熱を利用した真空凍結乾燥技術の開発	エネルギー応用研究所 都市・産業技術 G	河村 和彦

【ポスターセッションの部 優秀賞】

件名	代表者所属	代表者氏名
タブレット等の ICT を利活用した教育の効率化	工務部 工務研修所	畑中 聡嗣 倉橋 亜博
	電子通信部 技術 G	岩淵 啓明
GCB 電動ばね操作装置の劣化評価に関する研究	工務技術センター 技術 G	山田比呂志 伊藤 保則
配電設備へのツル植物の登はん抑制に関する取り組み	エネルギー応用研究所 バイオ技術 G	安藤 隆寛
EHC廃油の処理に関する研究	原子力安全技術研究所 プラント G	池堂 和仁
	電力技術研究所 材料技術 G	春日 智子
	浜岡原子力発電所 保守部 タービン課	田島 寛之 遠藤 勇介